

経営のお悩みは全て“ダストボックス”へ

株式会社 ダストボックス

〒010-0951 秋田県秋田市山王三丁目1-1 3F A-2
TEL 018-811-7102 / <http://dust-box.jp/>



「企業の未来を一緒に考えましょう!」と高杉さん

企業の想いを数値化し、 お金と人の悩みを解決!



困っている経営者を助けたい

2018年7月、行政書士事務所「オフィスハル」の代表も務める高杉さんが株式会社 ダストボックスを開業し、同年9月に県庁第2庁舎の創業支援室に入居した。

経営コンサルタントを専門に行っており、主に経営者向けのキャッシュフローコーチと社員向けの経営戦略教育としてのセミナー開催の2つを業務の柱に据えている。

「行政書士として仕事をしている時に“利益があるのに現金が残らない”“投資のタイミングがわからない”等、自社の経営状況を正確に把握できず、悩みを抱えている社長が多いことに気づいたんです。自身の持つスキルを生かし、悩みを解決したいと思ったのが設立のきっかけです」。

高杉さんのアプローチ方法はシンプルかつわかりやすい。ブロックパズルと呼ばれる手法で自社の財務状況を“見える化”し、企業としてどこを目指し、何をしたいのか、今、何をすべきなのかを示し、短中長期それぞれの目標設定や業務改善内容を明快にする。

「これまで6社の役員経験を活かし、経営判断に対して明確な根拠を示し、後押しするのが私たちの役目。企業と一緒に成長できる対等なパートナーでありたいと思っています」。

型にあった働き方を推進し雇用増へ

特に造詣の深い建築業や歯科医業の分野で新規顧客を順調に増やす一方で、高杉さんは社内の働きやすさにも力を入れる。ダストボックスでは、子育て中やリタイヤした世代でも一人ひとりが自分の型に合った働き方ができるようにと、出勤日や休暇を個々の予定に合わせて自由に決めることができる。

「優秀な人材に長く働いてもらうためには社内環境の充実が必須です。一人でも多くの“困った”を解決するために、最終的にはこの部屋に入りきらないくらい従業員を増やし、県内の雇用増にも繋げていきたいですね」。



県庁や市役所に入出入りの多い業種であり、日常的にセンターを活用できる創業支援室には「多大なメリットを感じています」と高杉さんは笑う。

事業概要

創業支援室の提供

創業・起業家や新事業分野進出を目指す意欲的な企業に事務スペースを提供し、日常的な経営支援を実施します。

お問い合わせ

総合企画部 総合相談課

TEL.018-860-5610